

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費 項 01商工費 目 01商工振興費 事務事業番号 07010101

事業名		創業促進・商業にぎわい事業		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市商店街の活性化に関する条例							
令和3年度決算額		64,404	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	40,892	千円	総合評価					
	地方債		千円						
	その他	4,200	千円						
	一般財源	19,312	千円						
事業費（総計）		68,702	千円		A				
決算額		64,404	千円						
人件費		4,298	千円						
事業の目的		市内商店会における商店街振興策の実施促進、商店会店舗の魅力向上、空き店舗の活用、創業者への支援等によって、市内商店街の活性化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> イベント・環境整備等助成事業 商店会が行う環境整備（花壇整備等）や加入促進、イベント開催など商店街活性化に係る事業及び抗原検査キットの購入など安全安心力の向上に係る事業等の経費の一部を助成します。 店舗改装費補助事業 市内全域の店舗を対象に、自店舗の魅力向上又は来店者の増加に繋がるような改装工事を市内施工業者を利用して行う者に対し、その費用の一部を補助します。 ※令和3年度は市内の飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業を対象とし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を目的とした改装費用の一部を補助する特例を実施しました。 空き店舗活用事業 商店街の空き店舗を活用して、集客に役立つ施設や創業者が活用する施設等を開設する場合、家賃や移転改装費の一部を補助します。 創業サポート事業 創業計画から創業後の経営基盤の強化まで一貫したフォローを行い、本市の経済を担う新たな中小企業者の育成を図ります。 空き店舗調査業務 空き店舗活用を促進するため、空き店舗の調査業務を委託し、市内全域の商店会に存在する空き店舗情報を、市ホームページに掲載します。 							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		イベント・環境整備等助成金		件	17	25	15		
		店舗改装費補助金（通例）※R3, R2の()は特例		件	9(126)	16(71)	11		
		空き店舗活用事業（店舗賃借料・移転改装費）		件	14	13	7		
		新規創業セミナー修了者		人	48	54	57		
		創業サポート事業補助金		件	21	22	8		
項目評価		高→低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				イベント支援やIT化支援、環境整備支援だけでなく、抗原検査キットの購入事業やウィズコロナ対策事業への支援など、商店街の営業継続に対し有効に活用されたため「4」としました。			
効率性		●				プレミアム付商品券を商店街で利用促進するため、各商店会と時期を合わせてタイアップ事業を行うなど効率的な取組みにより「4」としました。			
公平性		●				事業の実施時は、各商店会や関係団体への周知、会報への掲載、市広報誌やホームページ、フェイスブック等による周知を十分に行い、公平性に配慮したことから「4」としました。			
将来性		●				本事業については、商店街の維持・活性化や、本市において創業することにより、にぎわいの創出に繋がることから「4」としました。			
総合評価		A		コロナ禍であっても、助成・補助件数が堅調に推移するなど活用されており、各商店会や事業者等のニーズに沿った事業内容であると考えます。今後も社会状況や地域課題の変化に対応した効果的な振興策を実施するため、適宜見直しを行うとともに、広く周知を図っていきます。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010102

事業名		中小企業振興資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例						
令和3年度決算額		249,900	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	249,900	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		250,323	千円					
決算額		249,900	千円					
人件費		423	千円					
事業の目的		中小企業者等に対し、事業活動に必要な運転資金及び設備資金の融資の円滑化を図ることにより、経営基盤の強化及び経営の安定化を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 融資対象 市内に独立した事業所を有し、かつ、市税を完納している中小企業者等 融資金額 運転資金：4,000万円以内、設備資金：4,000万円以内 融資利率 1年以内：年1.2%、1年超5年以内：年1.7%、5年超：年1.8% 融資期間 運転資金：10年以内、設備資金：12年以内 <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		融資金額			千円	611,300	456,460	670,650
		融資件数			件	41	35	56
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本資金は、市内中小企業者に広く活用されていることから、「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。		
将来性		●				コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしており、中小企業者等の発展に欠かせない事業であることから、「4」としました。		
総合評価		A				本資金は市内中小企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010103

事業名		小規模企業経営改善資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課				
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例							
令和3年度決算額	900,000	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	900,000						千円	
	一般財源	千円							
事業費（総計）	900,423	千円			総合評価 A				
決算額	900,000	千円							
人件費	423	千円							
事業の目的	小規模企業者等に対し、事業活動に必要な資金調達の融資の円滑化を図り、経営の安定に資することを目的とします。								
事業の内容 SDGs17の目標	<p>1 融資対象 常時使用する従業員数50人以下の会社及び個人で、市内に独立した事務所があり、かつ市税を完納していること</p> <p>2 融資金額 運転資金：2,000万円以内、設備資金：2,000万円以内</p> <p>3 融資利率 1年以内：年0.7%、1年超：年1.3%</p> <p>4 融資期間 運転資金：7年以内、設備資金：15年以内</p> <p>5 その他 資本金の額が1,000万円以下かつ、常時使用従業員数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業、サービス業にあたっては5人、医療を主業とする法人にあたっては20人）以下の小規模企業者への信用保証料補給制度対象資金。（上限30万円） ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度			
	融資金額		千円	612,400	596,700	1,059,600			
	融資件数		件	85	77	167			
項目評価	高→低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●							本資金は、市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
	効率性	●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
	公平性	●							市内小規模企業者を広く対象としていることから、「4」としました。
将来性	●				コロナ禍における市内小規模企業者の資金需要に重要な役割を果たしており、小規模企業者の資金繰りに大きく寄与する事業であることから、「4」としました。				
総合評価	A				本資金は市内小規模企業者に広く活用されており、コロナ禍における市内小規模企業者の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。				
特記事項	決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010104

事業名		中小企業協同化資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例						
令和3年度決算額		80,000	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>				
	地方債		千円					
	その他	80,000	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		80,211	千円					
決算額		80,000	千円					
人件費		211	千円					
事業の目的		中小企業者等の組合及び構成員の事業に必要な資金を融資することを目的とします。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 融資対象 事業協同組合、企業組合、商店街振興組合、協業組合、生活衛生同業組合等及び構成組合員である中小企業者を対象とします。 融資条件 商工組合中央金庫の定めるところによります。 申込場所 商工組合中央金庫札幌支店（代理店は北央信用組合の市内支店） 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		融資金額			千円	1,920,000	2,778,000	3,637,000
		融資件数			件	33	60	90
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本資金は、市内中小企業者における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半は商工中金札幌支店への預託金ですが、翌年度当初に全額回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。		
将来性		●				コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしており、中小企業者等の発展に欠かせない事業であるため、「4」としました。		
総合評価		A				本資金は市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍における市内中小企業者等の資金需要に重要な役割を果たしております。今後も商工中金札幌支店と連携し、事業を推進していきます。		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010105

事業名		中小企業機械等購入資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例									
令和3年度決算額		4,700	千円	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>将来性 有効性 効率性 公平性</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 B </div> </div>							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	4,700	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		4,911	千円								
決算額		4,700	千円								
人件費		211	千円								
事業の目的		中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するために必要な機械等の購入資金を融資することにより、中小企業者等の振興、育成を図ります。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同一事業を営み、かつ、市税を完納している中小企業者等 2 資金用途 設備資金：生産、加工、試験または検査に使用する機械等の設置 3 融資金額 2,000万円以内 4 融資利率 年1.5% 5 融資期間 10年以内 <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		融資金額			千円	6,690	0	6,800			
		融資件数			件	2	0	1			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							本資金は、市内中小企業者の機械等設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。		
効率性		●							事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性			●						市内中小企業者等のうち、機械等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。		
将来性		●				コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の機械等設備投資に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。					
総合評価		B				本資金は、機械等の設備投資を行う市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010106

事業名		店舗近代化設備資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例									
令和3年度決算額		11,300	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>			総合評価		B	
	総合評価										
	B										
	地方債		千円								
その他	11,300	千円									
一般財源		千円									
事業費（総計）		11,511	千円								
決算額		11,300	千円								
人件費		211	千円								
事業の目的		中小事業者の店舗近代化に必要な資金を融資することにより、中小商業経営の近代化促進と地域の景観整備に貢献し、その振興を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 融資対象 市内中小事業者のうち、常時使用する従業員の数が50人以下の物販小売業・飲食店を営む企業及び事業協同組合等（自動車・燃料・農耕品の小売業を除く）</p> <p>2 資金使途 (1) 店舗の新築、増改築資金 (2) 組合が行う共同店舗建設資金 (3) テナント入店に要する内装設備資金 (4) 不動産等購入資金</p> <p>3 融資金額 1企業 5,000万円以内、1組合 8,000万円以内（テナント入店資金 2,000万円以内）</p> <p>4 融資利率 年1.3%</p> <p>5 融資期間 15年以内</p> <p>※対象業種 北海道信用保証協会対象業種</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		融資金額			千円	20,000	0	0			
		融資件数			件	1	0	0			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●				本資金は、市内中小事業者の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。					
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。					
公平性			●			市内中小企業者等のうち、店舗の新築・増改築資金等の設備投資を行う中小業者に限定していることから、「3」としました。					
将来性		●				コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小事業者の設備投資に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。					
総合評価		B				本資金は、店舗新築等の設備投資を行う市内中小事業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小事業者の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。					
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010107

事業名		中小企業環境保全施設資金貸付金		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例						
令和3年度決算額		3,900	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円	総合評価				B
	地方債		千円					
	その他	3,900	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		4,111	千円					
決算額		3,900	千円					
人件費		211	千円					
事業の目的		中小企業者等が、その事業活動に伴って発生する公害を処理又は防止するための施設整備資金、環境への負荷の低減や環境の保全に資するための施設整備資金を融資することにより、環境保全対策の推進を図り、市民の生活環境を向上させ、中小企業者等の振興を図ります。						
事業の内容		<ol style="list-style-type: none"> 融資対象 市内に独立した事業所を有し、1年以上同じ事業を営み、市税を完納している中小企業及び関係法令により設立許可を受けた組合等 融資金額 設備資金/移転資金 1件につき3,000万円以内 ・公害防止又は改善のために必要な機械等の購入及び施設の設置に要する経費 ・公害防止のため工場等を移転するための建設、設置等に要する経費 ・産業廃棄物の処理、資源化、再利用のための施設の設置・改善に要する経費 ・地球温暖化防止に有効な施設等を導入する経費 ・自然エネルギーを活用する施設を導入する経費 低公害車導入資金 1企業につき2,000万円以内 ・環境にやさしい電気自動車、ハイブリット車、天然ガス車、LPガス車等の購入経費及びその燃料供給施設設置経費 融資利率 年1.1% 融資期間 10年以内 ※対象業種 北海道信用保証協会対象業種 						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		融資金額		千円	0	0	0	
		融資件数		件	0	0	0	
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本資金は、市内中小企業者の公害防止設備等の設備投資における資金調達の一翼を担っていることから、「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半は預託金ですが、翌年度当初に全額金融機関から回収するものであり、実質的に必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性			●			市内中小企業者等のうち、公害防止設備等の設備投資を行う事業者に限定していることから、「3」としました。		
将来性		●				コロナ禍、アフターコロナに加え、ゼロカーボンシティ実現に関連する市内中小企業者等の公害防止設備等に対する資金需要に必要な事業であることから、「4」としました。		
総合評価		B				本資金は、公害防止設備等の設備投資を行う市内中小企業者における資金調達の一翼を担っており、コロナ禍、アフターコロナにおける市内中小企業者等の資金需要に対し必要な事業であることから、今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。		
特記事項		決算額は年度末に各金融機関に預託した額です。預託額は翌年度当初に各金融機関から全額を歳入として回収します。したがって、年度の歳出と歳入は同額になります。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010108

事業名		小規模企業経営改善資金信用保証料補給金		担当部署	産業経済部 商業振興課			
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例						
令和3年度決算額		10,308	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	10,308	千円					
事業費（総計）		10,731	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>				
決算額		10,308	千円					
人件費		423	千円					
事業の目的		小規模企業経営改善資金を借入れたときに、北海道信用保証協会へ支払う信用保証料を補給することにより、小規模企業者等の健全な経営に資することを目的とします。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 信用保証料の補給対象 <ul style="list-style-type: none"> 資本金の額が1,000万円以下、かつ、常時使用する従業員の数が20人（宿泊業及び娯楽業を除く商業及びサービス業にあたっては5人、医業を主たる事業とする法人は20人）以下の会社又は個人 小規模企業経営改善資金に限定 運転資金と設備資金の資金用途ごとに区分して、それぞれ適用 信用保証料の限度額 運転資金及び設備資金、それぞれ30万円を限度に補給 信用保証料の補給金の返納 信用保証料の補給を受けた小規模企業者が、一部又は全部を繰上返済したことにより約定貸付期間が繰り上がり、北海道信用保証協会から信用保証料の返戻を受けたときは、小規模企業者が負担した信用保証料を差し引いた、その返戻分について、市長へ返納するものとします。 						
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		補給金額		千円	10,309	5,592	13,651	
		補給件数		件	85	48	112	
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						本事業は、小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者に広く活用されていることから、「4」としました。
効率性		●						事業費の大半は信用保証料の補給金ですが、必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。
公平性			●					小規模企業経営改善資金を借り入れた市内小規模企業者のみを対象としていることから、「3」としました。
将来性		●				コロナ禍における市内小規模企業者の資金繰りに重要な役割を果たしている事業であることから、「4」としました。		
総合評価		A				本事業により、小規模企業者が小規模企業経営改善資金を借り入れた際に発生した信用保証料を補給することによって、事業者の資金繰りに重要な役割を果たしているものです。今後も市内金融機関と連携し、事業を推進していきます。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010109

事業名		中小企業振興事業		担当部署	産業経済部 商業振興課	
根拠法令		苫小牧市中小企業振興条例				
令和3年度決算額		1,658	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	700	千円			
	地方債		千円			
	その他	500	千円			
	一般財源	458	千円			
事業費（総計）		4,758	千円			
決算額		1,658	千円			
人件費		3,100	千円			
事業の目的		中小企業振興条例及び中小企業振興計画に基づき、中小企業者のニーズや抱えている課題等を把握し、計画の三本柱である「創業促進」「人材確保・事業継承」「販路拡大」につながる施策を継続的に実施し、振興を図ります。				
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 中小企業振興審議会 「中小企業振興計画」の進捗管理や、計画に基づいた有効な支援策等について、審議を行います。</p> <p>2 中小企業振興セミナーの開催 中小企業振興条例、中小企業振興計画の周知及び計画推進のため、市内中小企業者を対象としたセミナーを実施いたします。 令和3年度は、地域づくり総合交付金を活用し、中小事業者や創業希望者のICT活用促進と、ICTコミュニティ形成を目的に、「苫小牧市ICT推進コミュニティ創出事業」を実施し、ECサイトやSNS利活用についてのセミナーを26回実施いたしました。</p>				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		中小企業振興審議会	回	4	3	4
		中小企業振興セミナー参加者（R3は延べ人数）	人	214	30	57
項目評価		高→低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催すると共に、ニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施しており、市の中小企業施策の中心を担っていることから「4」としました。
効率性		●				事業費の大半が審議会委員への報酬と中小企業振興事業に係る委託料であり、必要最低限の経費で各種事業を展開しているため、「4」としました。
公平性		●				審議会は中小企業振興条例に基づき、中小企業団体を中心に有識者や市民等幅広い人材で構成され実施していることから、「4」としました。
将来性		●				本事業については、審議会をもとに本市の中小企業振興の方向性を継続的に審議・実施していく必要があることから、「4」としました。
総合評価		A		本事業では、市の中小企業振興事業の方向性を定める中小企業振興審議会を開催していること、またニーズに応じて中小企業推進事業を継続的に実施していることから、今後の市の中小企業施策において不可欠な事業です。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010110

事業名		中小企業人材育成補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		436	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	436	千円					
事業費（総計）		1,140	千円					
決算額		436	千円					
人件費		704	千円	総合評価	A			
事業の目的								
<p>中小企業大学校旭川校など、独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修事業に従業員等を受講させる場合、中小企業人材育成補助金を交付し、中小企業の人材育成の促進を図ります。</p>								
事業の内容								
<p>SDGs17の目標</p> <p>中小企業の事業主が経営力・技術力強化のため、従業員等に受講させた中小企業大学校旭川校などの講座受講料の一部を補助しました。また、市内でサテライトゼミを開催し、13人が参加しました。</p> <p>1 補助要件</p> <p>(1) 本市に事業所又は事務所がある中小企業者であること</p> <p>(2) 本市の市税に滞納がないこと</p> <p>(3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構の主催する研修事業を受けること</p> <p>2 補助上限額</p> <p>(1) 市外開催 2万円</p> <p>(2) 市内開催 WEB開催 1万5千円</p> <p>※受講料が上限額を超えない場合はその実額 1事業所につき、年間10万円上限としています。</p>								
実施結果（活動指標）								
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		研修受講人数		人	27	24	29	
項目評価								
		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性			●					本事業は市内企業の人材育成・経営基盤の強化に寄与しているものの、即効性の高い事業ではないため、「3」としました。
効率性			●					市内のサテライトゼミを開催し、旭川大学校での受講より、事業者の距離的・時間的負担の軽減を図っていることから「3」としました。
公平性		●						市内に事業所又は事務所がある中小企業者を広く対象としていることから「4」としました。
将来性		●				本事業で中小企業大学校の研修の受講を促進することにより、企業の人材育成・経営基盤の強化が図ることから「4」としました。		
総合評価								
		A				中小企業の事業継続・発展のためには人材育成が必要不可欠です。研修の受講の周知を図り、人材育成の促進を図ってまいります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010111

事業名		苦小牧地域産業力強化補助		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		480	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	480	千円					
事業費（総計）		550	千円					
決算額		480	千円					
人件費		70	千円					
事業の目的		自社のみでは解決できない課題を抱える中小企業に、（公財）道央産業振興財団の利用拡大・促進を図り、企業の課題を把握するとともに財団が持つ産学官金ネットワークを活用し、国・道・市などが実施する各種制度の活用を支援し、苦小牧地域の産業技術の高度化を図ります。						
事業の内容		SDGs17の目標 （公財）道央産業振興財団が行う次の事業に対し、苦小牧地域産業力強化補助金を支給しました。 <ol style="list-style-type: none"> 地域産業支援事業 <p>財団が取り組んでいる各種支援制度について、リーフレット作成し、商工会議所の会員に送付するなど積極的な周知活動を行い、活用促進につなげました。</p> 産学官金連携事業 <p>企業の課題調査を実施し、複雑化する企業課題に対応するため、各種補助金制度の活用支援や最新の技術や制度の情報収集・共有に努め、産学官金の連携を強化した企業支援に取り組みました。</p> 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		説明会参加企業数			人	9	—	10
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性			●			財団の広報活動を支援し、地域の産学官金連携を推進することは、苦小牧地域の産業力強化に繋がりますが、即効性の高い事業ではないことから「3」としました。		
効率性		●				豊富な知識や広い人脈を持つコーディネーターを有する財団の周知を図ることは、効率的な市内中小企業の支援に繋がることから「4」としました。		
公平性		●				苦小牧地域の技術の高度化のため、市内中小企業へ財団の周知・利活用を促進したことから「4」としました。		
将来性			●			ものづくり産業が集積する苦小牧市において、財団の活用促進や産学官金連携事業の推進は、将来にわたってまちづくりに重要であることから「3」としました。		
総合評価		A				引き続き、財団の利活用や産学官金連携事業を推進してまいります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010112

事業名		共同研究支援事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		215	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	215	千円					
事業費（総計）		919	千円					
決算額		215	千円					
人件費		704	千円					
総合評価		B						
事業の目的		産学官連携を活性化するとともに中小企業の技術力向上と地域産業の振興を図ることを目的としています。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>市内企業が道内の研究機関の持つ専門知識や知見及び設備・機器等を活用し、共同で取り組む技術研究に対し補助金を交付しました。（補助率：1/2 上限50万円）</p> <p>1 採択実績 1件 「災害用特殊機械の遠隔操作を実現する研究」</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		補助事業数			件	1	3	2
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性				●		共同研究を支援し、中小企業の技術力向上に寄与したと考えますが、（公財）道央産業振興財団の事業と類似している部分があり、申請数が少なく、期待した効果が得られていないことから「2」としました。		
効率性		●				（公財）道央産業振興財団や苫小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係支援機関と連携し実施したことから「4」としました。		
公平性			●			事業の募集にあたっては、市内事業者や道内の大学等の研究機関への周知・連携を図る必要があることから「3」としました。		
将来性		●				研究機関が持つ専門知識や知見、特殊な設備や機器等を活用し、共同で研究を行うことは、中小企業の発展のみならず産学官連携に寄与するものと期待できることから「4」としました。		
総合評価		B				道内の専門知識・知見をもつ様々な研究機関と市内企業の共同研究に繋がるよう、引き続き支援してまいります。周知方法など一部、見直しが必要だと考えます。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010113

事業名		地方創生地域コミュニティ活性化支援事業		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		29,470	千円	項目評価		総合評価 B					
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	29,470	千円								
事業費（総計）		32,992	千円								
決算額		29,470	千円								
人件費		3,522	千円								
事業の目的		<p>本事業は、市総合戦略の基本目標のひとつ「地元の魅力強化、暮らしやすさ発信で移住を促進」の事業として、苫小牧市限定の地域完結型のポイントを活用することで、市外への買い物流出を抑制し、本市経済の活性化に繋げるとともに、市が実施する事業に対する関心を高めることを目的とした、地域一帯で行っている事業です。</p>									
事業の内容		<p>地方創生地域コミュニティ活性化支援補助金交付要綱及び苫小牧市とまチョップポイント付与等に関する要綱に基づき、苫小牧市限定の地域完結型ポイントを活用する事業を支援する事業です。</p> <p>とまチョップポイントサービスの実施主体は、令和2年度から㈱オーティスが運営を担っております。</p> <p>1 実施主体の業務 (1) 加盟店の開発 (2) 加盟店に対するフォローアップ (3) 加盟店や市が発行したポイントの管理・精算 (4) 利用促進のためのイベントの企画・運営 (5) ポイントシステムの導入 【令和3年度補助】 6,462千円</p> <p>2 市の取組 (1) イベント等でのポイント発行 (2) 広報とまこまい、ホームページ等を活用した事業の周知 【令和3年度実績】 22,000千円（役務費 手数料）</p>									
SDGs17の目標											
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		加盟店数（年度末）			店	165	190	197			
		カード発行枚数（累計）			枚	61,476	58,400	55,152			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						例年より加盟店の退会が増えたが、カード発行枚数は順調に増えた結果となったため「3」としました。		
効率性			●						コロナ禍で市のイベントが思うように開催できない中、キャンペーンの実施により、事業者にも市民にもメリットを生めたため「3」としました。		
公平性		●							老若男女問わず、全市民を対象としたポイントサービスのため「4」としました。		
将来性			●			ポイントの付与などを行う端末を更新し、現在急速に普及しているQRコード決済にも対応できるようになったため「3」としました。					
総合評価		B				令和4年度から運用を開始したスマホアプリを活用した新たなポイント運営のための基盤づくりができました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010114

事業名		とまなか産業発展・創出事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		3,800	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	3,000	千円					
	一般財源	800	千円					
事業費（総計）		3,941	千円					
決算額		3,800	千円					
人件費		141	千円					
総合評価								
A								
事業の目的		<p>苫小牧工業高等専門学校と締結した「連携及び協力に関する協定」をもとに、苫小牧高専と協働で中小企業等が抱える課題の解決や、新規事業化の支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。</p>						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> </div> <p>C-base運営協議会負担金 平成30年10月に開設した、苫小牧市、苫小牧高等工業専門学校、苫小牧商工会議所で運営する技術経営相談窓口「C-base」では、苫小牧高専教員（コーディネータ）が市内の各支援機関と協力しながら中小企業等が抱える課題の解決にあたっています。各支援機関の分野の異なる専門家と連携しながら、多様な課題に対応し、産業振興を図るため、C-base運営協議会へ負担金を支出しました。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		技術相談件数			人	84	64	85
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				C-baseでは、市内企業の技術相談のほか、補助金の申請支援、転職等に関する相談をとおりて産業の振興に寄与したことから「4」としました。		
効率性		●				市、苫小牧高専、商工会議所が市内企業の技術相談窓口であるC-baseを協力して運営しており、効率的に中小企業の技術力向上を支援していることから「4」としました。		
公平性			●			中小企業の技術力向上を支援し、ものづくり産業の活性化を図ることは、苫小牧地域全体の産業振興に寄与することから「3」としました。		
将来性		●				C-baseでは、多様化する中小企業の課題解決に加え、新ビジネスに関する相談機能の充実に取り組んでおり、引き続き各機関の連携した支援が必要であることから「4」としました。		
総合評価		A				引き続き、C-baseを拠点に企業の課題解決や販路拡大に向けた共同研究や製品開発などに繋げていくことで、中小企業の技術力の向上・高度化を図ります。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010115

事業名		苦小牧イノベーション活性化事業		担当部署	産業経済部 工業・雇用振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		7,903	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	6,300	千円								
	一般財源	1,603	千円								
事業費（総計）		8,607	千円								
決算額		7,903	千円								
人件費		704	千円	総合評価	B						
事業の目的											
課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援し、市内において新技術等を導入する機運の醸成や産業の活性化を図ります。											
事業の内容		SDGs17の目標 課題解決や新規事業の創出に向けて、先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等に対し、苦小牧イノベーション活性化事業補助金を支給しました。（補助率：3/4 上限200万円） 1 採択事業（4件採択） 「粗材倉庫内在庫管理システムの構築」 「自治体リモート相談窓口システム」 「スマホでVR観光」 「サーマルドローンを活用した効率的検温方法の導入」									
実施結果（活動指標）											
		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		補助事業数			件	4	9	—			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性				●					苦小牧地域における先進的な技術やアイデアを導入し、課題の解決や新規事業の創出を図り産業の活性化に寄与したと考えますが、即効性がある事業ではなく、また令和3年度については、補助事業数が4件であったため「2」としました。		
効率性		●							（公財）道央産業振興財団や苦小牧高専サテライト「C-base」、市テクノセンター等の関係機関と連携し実施したことから「4」としました。		
公平性		●							事業の募集にあたり、C-baseや財団等と連携し、より多くの市内事業者へ周知を図っていきたいと考えていることや先着順ではなく、審査により採択者を決定していることから「4」としました。		
将来性			●			先進技術や新たなアイデアを導入する市内企業等を支援することは、将来にわたり地域経済活動の活性化が見込まれ、継続した事業実施により効果が高まることから期待されるため「3」としました。					
総合評価		B				評価項目のとおり、市内産業の活性化を図る事業として目的に適った事業を実施し、本事業により、地域への波及効果を図ってきましたが、周知方法など、一部見直しが必要だと考えます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010116

事業名		新型コロナウイルス対策融資保証料補給事業		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		1,814	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	1,814	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		3,223	千円								
決算額		1,814	千円								
人件費		1,409	千円								
事業の目的		新型コロナウイルス感染症による影響を受け、市内主要金融機関からコロナ融資を受けた事業者のうち、北海道信用保証協会による保証を受けた中小・小規模事業者が負担した信用保証料を補給することにより、事業者の資金繰りを支援します。									
事業の内容 SDGs17の目標		<ol style="list-style-type: none"> 信用保証料の補給対象 令和3年4月1日以降に「セーフティネット保証4号」「セーフティネット保証5号」「危機関連保証」のいずれかの認定を受け、市内金融機関の店舗にて実施する運転資金の融資を受けた際に支払った信用保証料 信用保証料の限度額 1融資あたり10万円を限度に補給 補助期間 令和4年1月31日までの融資実行分まで（申請締切は令和4年2月28日） 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		補給金額			千円	1,814	4,771	-			
		補給件数			件	19	73	-			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性				●					本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者に活用されましたが、政府系金融機関による実質無利子・無担保融資が延長され、想定より補給件数が少なかったことから「2」としました。		
効率性		●							事業費の大半は信用保証料の補給金ですが、必要最低限の人件費のみで事業を展開しているため、「4」としました。		
公平性		●							市内金融機関からの融資（信用保証協会の保証付）を広く補給対象としていることから、「4」としました。		
将来性					●	新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度の単年度事業のため「1」としました。					
総合評価		B				本事業により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者が資金を借り入れる際の負担を軽減するなど一定の効果はありましたが、国の無利子無担保融資により補給件数が19件となりました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010117

事業名		プレミアム付商品券事業		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室					
根拠法令										
令和3年度決算額		533,916	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金	523,072	千円							
	地方債		千円							
	その他	10,000	千円							
	一般財源	844	千円							
事業費（総計）		552,380	千円							
決算額		533,916	千円							
人件費		18,464	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; text-align: center;">A</div>					
事業の目的										
コロナ禍で落ち込んだ消費を喚起するため、プレミアム付商品券を発行。さらに大きな影響を受けた飲食店、地元店に経済循環を促すため、飲食店・地元店応援商品券（通称：とまチケ）を発行しました。										
事業の内容 SDGs17の目標										
1 事業内容（当初） (1) 一般商品券 ア 販売額 1冊 5,000円（500円券12枚綴り） イ プレミアム率 20% ウ 発行冊数 100,000冊（発行総額600,000千円） (2) 飲食店&地元店応援券（通称：とまチケ） ア 販売額 1冊 5,000円（500円券16枚綴り） イ プレミアム率 60% ウ 発行冊数 100,000冊（発行総額800,000千円） (3) 販売方法 ア 申込用紙での応募方式による引換販売 (4) 購入上限冊数 ア それぞれ1人につき2冊 2 事業内容の変更点 (1) 商品券の増刷 ア 一般商品券を1,748冊、とまチケを2,498冊増刷（計4,246冊増刷） 発行数 一般商品券：101,748冊 とまチケ：102,498冊 合計：204,246冊 (2) 購入上限冊数 ア 「1人につき2冊」から「世帯人数」ごとに購入上限冊数を調整										
実施結果 （活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		発行枚数			枚	2,860,944	3,086,804	-		
		換金（使用）率			%	99.55	99.64	-		
		使用金額			千円	1,424,103	1,537,917	-		
項目評価		高→低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							商品券購入者に行ったアンケート調査からも、地域における一定の消費喚起効果があったと確認できたため「4」としました。
		効率性	●							約550,000千円の予算に対し、短期間で1,400,000千円を超える消費が促されていることから効率性は高いため「4」としました。
		公平性	●							R3.4.30現在、住民登録がある全世帯に対し申請書を送付し、約1ヶ月間受け付け。その後、申請した方が全員購入できるよう調整して割当てを行ったことから、公平性は保てたため「4」としました。
将来性			●		プレミアム費用及び事務費については発行冊数に応じて費用が増大するため、市の単費で継続して行うことは困難と思われます。そのため、国の交付金や北海道の補助金の活用が前提となるため「2」としました。					
総合評価		A				短期間に1,400,000千円を超える金額が消費され、地域における一定の消費喚起効果や、コロナ禍で大きな影響を受けた飲食店や地元店への支援につながったものと見込めることからA評価としました。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010118

事業名		苦小牧市事業承継推進事業		担当部署	産業経済部 商業振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		2,482	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	2,482	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		4,595	千円								
決算額		2,482	千円								
人件費		2,113	千円	総合評価	A						
事業の目的		人口減少と少子高齢化に伴い、中小企業等における経営者の高齢化が進み休廃業や解散の増加が予想されることから、中小企業等における事業承継を推進し、本市経済の活性化を図ることを目的としています。									
事業の内容		事業譲渡、株式譲渡などにより、親族・役員・従業員以外の第三者に経営権を譲渡し事業承継をした市内の中小・小規模事業者に対して100万円を給付します。									
SDGs17の目標											
		<<対象要件>> 1 市内で事業を営む中小企業者等のうち、事業譲渡時に法人税の納税地が苦小牧市であった法人の経営者又は市内に住居登録のある個人事業主 2 法人税の納税地が苦小牧市である法人又は市内に住居登録のある個人事業主に対し、令和3年4月1日以降に第三者承継を完了した者 3 市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターからの支援を受けて、事業承継を完了した者 4 株式譲渡契約により事業承継を行った者は、譲渡事業者及び譲受事業者双方が、市内で引き続き1年以上事業を営むこと。事業譲渡契約により事業承継を行った者は、譲受事業者が、譲渡事業者の事業を市内で引き続き1年以上営むこと。 5 市税を滞納していない者（ただし、納税課と分割納付協議にて猶予中の者を含む）									
実施結果（活動指標）				単位				R3年度	R2年度	R1年度	
		給付件数		件	2	-	-				
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						令和3年度の目標件数3件に対して、2件という実施結果だったことから、「3」としました。		
効率性		●							企業版ふるさと納税を原資とし、市内金融機関及び北海道事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業のため「4」としました。		
公平性			●						全ての事業承継のケースを対象とせず、第三者承継に限定していることから「3」としました。		
将来性		●				本事業は事業の継続や雇用の維持に関する取り組みで、今後の地域経済の発展にも関わるため「4」としました。					
総合評価		A				地域経済の発展のため、今後も関係機関と連携して取り組んでまいります。					
特記事項											

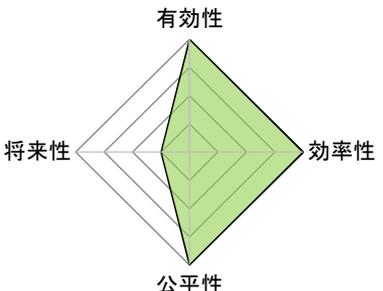
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010119

事業名		事業継続支援事業2021（第2弾）		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室						
根拠法令											
令和3年度決算額		161,420	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	38,293	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	123,127	千円								
事業費（総計）		167,978	千円						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">A</div>		
決算額		161,420	千円								
人件費		6,558	千円								
事業の目的		<p>国の緊急事態宣言や本市の感染拡大警報の発出により人流が減少し、特に時短要請されている飲食店やそれに関わる小売店、ホテルやタクシー業界など幅広く様々な業種業態への影響が生じることが懸念されることから、大幅に売上が減少した市内の中小・小規模事業者へ、緊急的に事業継続のための支援金を給付します。</p>									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請）</p> <p>2 対象要件（全て満たしていること）</p> <p>(1) 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること</p> <p>(2) 法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店または主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること 個人：住所または、所得税の納税地が苫小牧市であること</p> <p>(3) 令和3年4月から令和3年7月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年または前々年同期比で30%以上減少した月があること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない（過去の事業継続支援金を含む）</p>									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		交付金額			千円	161,200	-	-			
		支援件数（事業者）			件	1,612	-	-			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため「4」としました。					
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。					
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。					
将来性					●	新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度の単年度事業のため「1」としました。					
総合評価		A				本事業により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010120

事業名		事業継続支援事業2021（第3弾）		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室																															
根拠法令																																				
令和3年度決算額		173,174	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td rowspan="6"> </td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td>110,124</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>63,050</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>179,732</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>173,174</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>6,558</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	財源内訳	国道支出金	110,124	千円	地方債		千円	その他		千円	一般財源	63,050	千円	事業費（総計）		179,732	千円	決算額		173,174	千円	人件費		6,558	千円
項目評価			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> <td rowspan="6">A</td> </tr> </table>		総合評価				A																											
総合評価					A																															
財源内訳	国道支出金					110,124				千円																										
	地方債									千円																										
	その他									千円																										
	一般財源			63,050		千円																														
事業費（総計）		179,732	千円																																	
決算額		173,174	千円																																	
人件費		6,558	千円																																	
事業の目的																																				
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う北海道の緊急事態宣言の発出や、不要不急の外出・移動の自粛により市内の人流が減少し、飲食店や小売店、ホテルやタクシー業界など幅広く様々な業種業態への影響が生じることが懸念されることから、大幅に売上が減少した市内の中小、小規模事業者へ緊急的に事業継続のための支援金を給付します。</p>																																				
事業の内容																																				
<p>SDGs17の目標</p>  <p>1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請）</p> <p>2 対象要件（全て満たしていること）</p> <p>(1) 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること</p> <p>(2) 法人：苫小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店または主たる事業所の所在地等）が苫小牧市であること 個人：住所または、所得税の納税地が苫小牧市であること</p> <p>(3) 令和3年8月から令和3年11月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年または前々年同月比で30%以上減少した月があること ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない（過去の事業継続支援金を含む）</p>																																				
実施結果（活動指標）																																				
		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度																													
		交付金額		千円	172,900	-	-																													
		支援件数（事業者）		件	1,729	-	-																													
項目評価																																				
		高→低				評価の理由																														
		4	3	2	1																															
有効性		●						売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため「4」としました。																												
効率性		●						事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。																												
公平性		●						市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。																												
将来性					●	新型コロナウイルス感染症に係る令和3年度の単年度事業のため「1」としました。																														
総合評価																																				
		A				本事業により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。																														
特記事項																																				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010121

事業名		プレミアム付商品券事業（第3弾）【繰越明許】		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室				
根拠法令									
令和3年度決算額		9,552	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	3,788	千円						
	一般財源	5,764	千円						
事業費（総計）		11,808	千円		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>				
決算額		9,552	千円						
人件費		2,256	千円						
事業の目的		コロナ禍で落ち込んだ消費を喚起するため、プレミアム付商品券を発行し、さらに大きな影響を受けた飲食店、地元店に経済循環を促すため、飲食店・地元店応援商品券（通称：とまちケ）を発行します。							
事業の内容		1 事業内容 (1) 一般商品券 ア 販売額 1冊 5,000円（500円券12枚綴り） イ プレミアム率 20% ウ 発行冊数 150,000冊（発行総額750,000千円） (2) 飲食店&地元店応援券（通称：とまちケ） ア 販売額 1冊 5,000円（500円券15枚綴り） イ プレミアム率 50% ウ 発行冊数 150,000冊（発行総額750,000千円） (3) 販売方法 ア 申込用紙での応募方式による引換販売 (4) 購入上限冊数 ア それぞれ1人につき2冊 ※令和3年度は申請書の送付及び、申請書の受付業務について実施しました。							
実施結果 （活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		発行枚数			枚	2,860,944	3,086,804	-	
		換金（使用）率			%	99.55	99.64	-	
		使用金額			千円	1,424,103	1,537,917	-	
項目評価		高→低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●				前年度までに実施した同様の事業結果から、地域における一定の消費喚起効果が期待できることから「4」としました。		
		効率性	●				前年度までに実施した同様の事業結果から、短期間で消費が促されることが見込まれるため「4」としました。		
		公平性	●				R4.2.4現在、住民登録がある全世帯に対し申請書を送付し、約1ヶ月間受け付けしたため、公平性は保てる見込みのため「4」としました。		
将来性			●		プレミアム費用及び事務費については発行冊数に応じて費用が増大するため、市の単費で継続して行うことは困難と思われます。そのため、国の交付金や北海道の補助金の活用が前提となるため「2」としました。				
総合評価		A			主な事業は令和4年度に実施するものですが、これまでに実施した同様の事業結果から、一定程度の消費喚起効果が見込まれます。				
特記事項									

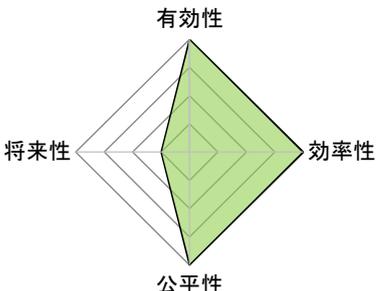
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010122

事業名		第三者認証取得推奨給付金事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室			
根拠法令								
令和3年度決算額		17,023	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	17,023	千円					
事業費（総計）		23,440	千円	総合評価				
決算額		17,023	千円					
人件費		6,417	千円					
事業の目的		苫小牧市内すべての飲食店が、北海道の第三者認証制度の認証を取得することで、安全安心を市内外にアピールし、多くのお客様の来店に繋がります。また、認証取得により、感染再拡大となった場合でも、時短営業・酒類提供時間短縮・人数制限の影響を緩和出来る北海道の「ワクチン・検査パッケージ」が適用される環境を整えます。						
事業の内容		SDGs17の目標						
		1 支給額 第三者認証制度の認証を取得した店舗について、1店舗あたり5万円を支給（同一事業者が複数店舗で認証取得をした場合、各店舗分該当） 2 対象要件 苫小牧市内にある第三者認証制度の認証を取得した店舗 ※店舗規模の大小、主たる事業者の住所、法人・個人は問わない 3 申請受付期間 令和4年2月～12月末						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		交付金額			千円	17,000	-	-
		支援件数（店舗）			店舗	340	-	-
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				北海道の第三者認証制度の認証を受けた市内の飲食店(店舗毎)に対し給付金を給付し、感染防止対策の推進につながる支援を行うことができたため「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半は給付金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。		
公平性		●				市内の飲食店を幅広く対象としたことから、「4」としました。		
将来性					●	新型コロナウイルス感染症に係る令和3、4年度の事業のため「1」としました。		
総合評価		A				本事業により、北海道の第三者認証制度の認証を受けた市内の飲食店(店舗毎)に対し給付金を給付し、感染防止対策の推進につながる支援を行うことができました。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 01商工振興費

事務事業番号 07010123

事業名		事業継続支援事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 緊急経済対策給付金室			
根拠法令								
令和3年度決算額		86,569	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	86,569	千円					
事業費（総計）		94,330	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>				
決算額		86,569	千円					
人件費		7,761	千円					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不要不急の外出・移動の自粛により影響を受け、売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者のうち、前年同月比で30%以上減少している事業者へ支援金を給付することにより、市内中小・小規模事業者の事業継続につながる支援を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div> <p>1 支給額 1事業者あたり、10万円を支給（1事業者につき1申請）</p> <p>2 対象要件（全て満たしていること）</p> <p>(1) 資本金の額又は出資の総額が10億円未満であること 定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2,000人以下であること</p> <p>(2) 法人：苦小牧市内に本店登記を行っている、もしくは法人税の納税地（本店または主たる事業所の所在地等）が苦小牧市であること 個人：住所または、所得税の納税地が苦小牧市であること</p> <p>(3) 令和2年12月から令和3年3月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年同月比30%以上減少した月があること （ただし、令和3年2月又は3月と比較する場合は、前々年同月比でも可とする） ※過去に国や道、市が実施した給付金等の受給有無は問わない</p> </div> </div>						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		交付金額			千円	86,300	60,400	-
		支援件数（事業者）			件	863	604	-
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者に対し幅広く支援金を給付し、事業の継続につながる支援を行うことができたため「4」としました。		
効率性		●				事業費の大半は支援金であり、必要最低限の人件費のみで事業を展開できたため、「4」としました。		
公平性		●				市内中小企業者等を広く対象としていることから、「4」としました。		
将来性					●	新型コロナウイルス感染症に係る令和2年度・3年度の事業のため「1」としました。		
総合評価		A				本事業により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者へ幅広く支援金を給付し、事業継続のための支援を行うことができました。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010201

事業名		苫小牧港管理組合負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課					
根拠法令		苫小牧港管理組合同規約								
令和3年度決算額	622,497	千円	項目評価			<table border="1"> <tr><th colspan="2">総合評価</th></tr> <tr><td colspan="2" style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td></tr> </table>	総合評価		A	
総合評価										
A										
財源内訳	国道支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	622,497	千円							
事業費（総計）	632,357	千円								
決算額	622,497	千円								
人件費	9,860	千円								
事業の目的	苫小牧港の港湾整備に要する事業経費、苫小牧港管理組合の管理運営などに要する経費と港湾に係る収入、国の支出金等の収支不足分を苫小牧港管理組合同規約に基づき、北海道と苫小牧市の負担金として持分負担します。									
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中央北ふ頭岸壁改良令和4年度完成予定 真古舞地区国際物流ターミナル整備事業 ＜整備箇所図＞ ●東港区周文ふ頭新規岸壁整備事業 ＜整備箇所図＞ 									
SDGs17の目標										
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
	取扱貨物量（外貿）		千 t	16,034	13,812	17,480				
	取扱貨物量（内貿）		千 t	88,743	86,486	89,814				
	取扱貨物量（合計）		千 t	104,777	100,298	107,294				
項目評価	高→低		評価の理由							
	4	3	2	1						
有効性	●				港湾整備・管理運営により、苫小牧市の発展に大きく貢献しています。					
効率性	●				効率的な港湾整備・管理運営が実施できています。					
公平性	●				公平性を保つよう十分に努めています。					
将来性	●				苫小牧市の発展に、苫小牧港の発展は必要です。					
総合評価	A		各項目評価のとおり、港湾施設の効率化・老朽化対策に備えた整備が進められました。今後は、事業採択となった東港区周文ふ頭における、利便性の向上と大規模自然災害に備えた耐震性を有する岸壁の整備促進を要望します。							
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010202

事業名		企業立地振興条例助成		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課				
根拠法令		苫小牧市企業立地振興条例							
令和3年度決算額		178,659	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	178,659	千円						
事業費（総計）		182,885	千円						
決算額		178,659	千円						
人件費		4,226	千円						
事業の目的		事業場の新設・増設、それに伴う新規雇用、緑化事業を行ったものに対し、助成金の交付を行い、もって地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図り、本市の発展に寄与します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業場設置助成金 事業場の新增設を行った企業に対し、2～3年分の固定資産税相当額を助成しました。 ※3年間に分割して交付します。 雇用助成金 事業場の新增設に伴う新規雇用に対し、1人につき30万円助成しました。 緑化助成金 事業場の新增設に伴う緑化工事に対し、緑化に要した費用の30%を助成しました。 							
実施結果（活動指標）		指標名				単位	R3年度	R2年度	R1年度
		事業場設置助成金				千円	168,159	176,557	236,706
		雇用助成金				千円	10,500	3,900	21,000
		緑化助成金				千円	0	0	10,000
項目評価		高→低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				数多くの企業に活用いただいています。			
効率性			●			企業立地振興条例に基づいた助成を実施しています。			
公平性		●				企業立地振興条例に基づいた助成を実施しており、進出企業への周知を行っています。			
将来性		●				企業の新事業に対し助成することで、将来性に繋がっています。			
総合評価		A				各項目評価のとおり、多くの企業に活用いただき、新たな設備投資や雇用の創出に繋がっています。今後も進出企業へ積極的なPRを図っていくとともに、経済動向や効果を勘案し、制度見直しを柔軟に行います。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010203

事業名		苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会負担金		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		500	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	500	千円								
事業費（総計）		1,909	千円	総合評価	B						
決算額		500	千円								
人件費		1,409	千円								
事業の目的		市民や地元企業などに対して、CCUS（二酸化炭素・回収・有効利用・貯留）・カーボンリサイクルに係る実証試験等のプロジェクトや関連産業に対する地元誘致に対する理解と機運の醸成を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <ol style="list-style-type: none"> 苫小牧市のゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、「苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」に「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を併合し、「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組しました。 事業の進捗状況や活動等について掲載した機関紙「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信Vol.12」を発行しました。 市庁舎に設置したモニターでCO2圧入量等の情報公開を行ったほか、パネル展等への後援・協力を行いました。 関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査(株)、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体41,761名、苫小牧ブース149名（名刺交換） ※CCS講演会や現場視察会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		CCS講演会「地球温暖化とCCS」			人	0	0	600			
		子ども実験教室・夏休み宿題教室			人	19	0	140			
		現場視察会			人	0	0	0			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため、「3」としました。		
効率性			●						苫小牧水素プロジェクト会議を併合し「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組。会員、関係企業・団体と連携を図りながら活動を行っており、「3」としました。		
公平性			●						モニターを活用した情報公開や、事業の進捗状況や活動内容などを掲載した機関紙の発行など、情報発信・広報周知活動に努めており、「3」としました。		
将来性			●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、引き続き取組を継続すべき活動であると考えられるため、「3」としました。					
総合評価		B				コロナの影響により実施できない活動もありましたが、評価項目のとおりおおむね目的に適った活動を実施できています。今後も、事業展開に関連した情報収集等に努め、国や関係機関、地元企業と連携し、更なるプロジェクト誘致に繋がるよう活動を継続してまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010204

事業名		苫小牧水素エネルギープロジェクト事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令							
令和3年度決算額		254	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	254	千円				
事業費（総計）		1,663	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">B</div>			
決算額		254	千円				
人件費		1,409	千円				
事業の目的		水素エネルギーは、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待されています。このような情勢のもと、新たな産業展開、雇用創出など地域経済活性化に向けた取組を推進します。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 苫小牧市のゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、「苫小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」に「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を併合し、「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組しました。 上記推進協議会の活動の一環として「再生可能エネルギー・水素、運輸・データセンター専門部会」を開催し、民間企業や関係団体等と意見交換を行うなど、情報収集に努めました。 関係機関と連携してスマートエネルギーWEEKに出展しました。 共同出展者：日本CCS調査(株)、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会 来場者：会場全体41,761名、苫小牧ブース149名（名刺交換） <p>※CCS講演会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		水素エネルギー関連会議等の開催		回	1	1	2
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため、「3」としました。	
効率性			●			「CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」と合併し「CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組。会員、関係企業・団体と連携を図りながら活動を行っており、「3」としました。	
公平性			●			構成員及びオブザーバ間の公平性の確保に努めており、「3」としました。	
将来性			●			国の「2050年カーボンニュートラル」に向けた方向性とも合致しており、引き続き取り組みを継続すべき活動であると考えられるため、「3」としました。	
総合評価		B		評価項目のとおり、おおむね目的に適った活動を実施できています。今後は、苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会に設置した部会において、事業展開に関連した情報収集等に努め、国や関係機関、地元企業と連携し、更なるプロジェクト誘致に繋がるよう活動を継続してまいります。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010205

事業名		立地企業サポート事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		48,246	千円	項目評価				総合評価 B
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	33,600	千円					
	一般財源	14,646	千円					
事業費（総計）		52,472	千円					
決算額		48,246	千円					
人件費		4,226	千円					
事業の目的		雇用機会の創出と雇用の安定化を目的として、市内に事業所を有する企業等を対象に、人材確保への支援や雇用環境改善に係る補助や支援を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>市内の立地企業を対象に、従業員の定着率の向上や雇用の安定化を目的とした労働環境の改善のための設備投資や、経営の安定化を目的とした展示会や商談会への出展経費、人材の確保を目的とした就職説明会への出展経費に対して、補助を行いました。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度		
		展示会や商談会への出展経費等の補助件数	件	10	29	21		
		合同就職説明会等への参加法人数	社	41	32	50		
		労働環境の改善等のための経費の補助件数	件	31	27	15		
項目評価		高→低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				人材確保への支援や雇用環境改善に繋がるよう周知を行い、多くの企業へ補助を行いました。		
効率性			●			これまで、補助上限額を設定するなど、より多くの企業に事業を活用いただけるよう制度の見直しを行うなど、効率化を図りながら事業を実施しているので「3」と評価しました。		
公平性			●			事前に十分な広報を行い、補助対象企業は選定委員会により決定するなど、公平性を図り事業を実施しました。		
将来性			●			企業の職場環境改善に貢献するなど、従業員の定着率向上に資する事業を実施しているため「3」と評価しました。		
総合評価		B		項目評価のとおり、おおむね目的に適した事業展開ができていますが、より効果的な事業とするため、事業の認知度向上に繋がる取組を実施していきます。今後も継続的に立地企業との意見交換・情報共有を図り、より効果的な事業となるように制度を見直しながら、課題解決に向けて連携・協力・フォローアップを行います。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010206

事業名		苦小牧港PR促進事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課																																				
根拠法令		苦小牧港PR促進事業補助要綱																																							
令和3年度決算額		853	千円	項目評価																																					
財源内訳	国道支出金		千円																																						
	地方債		千円																																						
	その他		千円																																						
	一般財源	853	千円																																						
事業費（総計）		1,557	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>																																					
決算額		853	千円																																						
人件費		704	千円																																						
事業の目的		「みなとオアシス」の区域並びに施設を一体的に利用し地域の賑わいを創出する住民参加型の取組を推進するため、関係機関や市民との連携を図るとともに、関連事業活動の継続性の確保と支援を行い、港湾都市「苦小牧」の活性化に寄与することを目的とします。																																							
事業の内容		<p>【みなとオアシス苦小牧運営協議会としての事業】※苦小牧港PR促進事業分</p> <ol style="list-style-type: none"> Sea級グルメ全国大会in境港への出展 →新型コロナウイルス感染症の影響により再延期 PRの強化 →みなとオアシス苦小牧登録10周年記念事業など、対外的なPRになる事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 親水空間において市民団体によるコンサートを開催 親水空間の賑わい創出のためコスモスの種蒔き並びに花壇へ花苗の植え付けを実施 港に親しむ機会の創出のため、港周辺にて説明を伴ったウォーキングと港湾業務艇への乗船による航海体験を実施 																																							
SDGs17の目標																																									
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Sea級グルメブース来場者</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>780</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(境港市※延期)</td> <td>(境港市※延期)</td> <td>(佐渡市)</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	Sea級グルメブース来場者	人	0	0	780			(境港市※延期)	(境港市※延期)	(佐渡市)																					
指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度																																					
Sea級グルメブース来場者	人	0	0	780																																					
		(境港市※延期)	(境港市※延期)	(佐渡市)																																					
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高→低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。</td> </tr> </tbody> </table>					高→低				評価の理由	4	3	2	1	有効性			●		新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。	効率性			●		新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。	公平性		●			Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。	将来性		●			Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。		
	高→低				評価の理由																																				
	4	3	2	1																																					
有効性			●		新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。																																				
効率性			●		新型コロナウイルス感染症の影響により、Sea級グルメが中止となりました。																																				
公平性		●			Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。																																				
将来性		●			Sea級グルメ次年度開催に向けての準備を行います。																																				
総合評価		<div style="font-size: 3em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>				境港市にて開催予定だったSea級グルメイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により延期となりましたが、「みなとオアシス苦小牧運営協議会」の活動に対する支援を通じ、交流人口や観光客等の増加を図り、苦小牧港のさらなる魅力発信や賑わいの創出を図ります。																																			
特記事項																																									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010207

事業名		テクノセンター機器整備事業		担当部署	産業経済部 テクノセンター		
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例					
令和3年度決算額		8,717	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	8,717	千円				
事業費（総計）		27,668	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">総合評価 A</div>			
決算額		8,717	千円				
人件費		18,951	千円				
事業の目的		地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化に寄与するため、テクノセンター機器および設備を整備し、その充実を図ります。					
事業の内容		<p>地元中小企業の技術力向上を支援し、生産技術の高度化を促進して産業支援を図るためには、継続的に基盤整備が必要であることから、平成16年度から計画的に老朽化した機器の更新と地元中小企業のニーズに基づいた最新鋭機器の導入を進めております。</p> <p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>8</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>9</p> </div> </div> <p>1 事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 導入機器の操作法指導及び利用開放を行っております。 (2) 企業からの依頼による各種試験・検査等を行い、成績書を発行しております。 (3) 企業の技術力向上に資するため、技術相談や技術指導を行っております。 (4) 技術研修会や技術講習会を開催しております。 <div style="text-align: center;"> <p>フーリエ変換赤外分光光度計（令和3年度新規導入機器）</p> </div>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
		機器利用・依頼試験		件	1,014	845	1,395
		技術相談・技術指導		回	92	39	49
		技術研修会・技術講演会参加者		人	235	119	112
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				企業による機器利用や依頼試験は1,000件を超え、地元ニーズにしているものと評価しております。また、研修会等の参加人数も200人以上を超え、技術力の向上に貢献していると考えられますので、「4」としました。	
効率性			●			最新の支援機器を導入することにより、質の高い地元中小企業支援を行うことが可能となった一方で、必要とされる機器も高額化している状況にあるため、「3」としました。	
公平性		●				利用者から使用料又は手数料を納めていただき、公平な受益者負担としているので、「4」としました。	
将来性		●				苫小牧市における工業技術の高度化や人材育成を促進し、産業の振興を図るための基盤となる事業ですので、「4」としました。	
総合評価		A		テクノセンターにおいては、地元企業の競争力強化に対応できる支援機器の充実と、それを核とした高度な技術支援能力が求められている状況にあります。一方で、充実を図るべき機器の価格も上昇傾向にあることから、必要に応じて各種補助金などの活用なども検討します。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010208

事業名		苦小牧クルーズ振興協議会補助		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課						
根拠法令		苦小牧クルーズ振興協議会補助金交付要綱									
令和3年度決算額		34	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>							
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	34	千円								
事業費（総計）		738	千円					<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 将来性 効率性 </div>			
決算額		34	千円								
人件費		704	千円								
事業の目的		苦小牧港に入港するクルーズ船の歓迎体制を構築することにより、クルーズ船文化の創造を図り、更なるクルーズ船の入港に繋げるとともに、苦小牧港の新たな魅力の発信と地域振興及び観光振興に寄与することを目的とします。									
事業の内容		<p>【苦小牧クルーズ振興協議会として実施した事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> 白老港と連携した受入対応に係る企画・運営の実施 官学連携によるおもてなし体制の構築 クルーズコンテンツの探求に係るネットワークの形成 クルーズ船誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> 船社等への訪問活動 各種会合やセミナーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> 北海道クルーズ振興協議会 全国クルーズ活性会議 など 他港湾の視察 <ul style="list-style-type: none"> 宇和島港、室蘭港視察 									
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		クルーズ船入港回数			回	0	0	5			
		苦人隊加入者数			人	0	0	238			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性			●						<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の入港が中止となったものの、誘致活動については実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の入港が中止となったものの、誘致活動については実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、全体の動きとしてクルーズ船の入港は見送られていますが、収束後の活動について調整しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、全体の動きとしてクルーズ船の入港は見送られていますが、収束後の活動について調整しています。</p>		
効率性				●							
公平性			●								
将来性			●								
総合評価		B				<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、クルーズ船入港に伴う事業は未実施ですが、その他事業について実施し、クルーズ船受入れ環境の構築に努めました。</p>					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010209

事業名		テクノセンター正面玄関屋根ガラス改修等工事		担当部署	産業経済部 テクノセンター					
根拠法令		苫小牧市テクノセンター条例								
令和3年度決算額	2,046	千円	項目評価				総合評価			
	財源内訳	国道支出金						2,000	千円	
		地方債							千円	
		その他							千円	
		一般財源						46	千円	
事業費（総計）	3,680	千円								
決算額	2,046	千円								
人件費	1,634	千円								
事業の目的	テクノセンター正面玄関の屋根ガラスが破損し改修等が必要となっているため、電源立地地域対策交付金を活用しつつ、利用者の安全確保を万全なものとするよう当該箇所の修繕を行うものです。									
事業の内容	<p>1 テクノセンター正面玄関屋根ガラス改修等工事費内訳</p> <p>(1) ポーチ庇ガラス交換一式 1,298,000円</p> <p>(2) 鉄骨等塗装塗替一式 748,000円</p> <p>2 令和3年度電源立地地域対策交付金充当額 2,000,000円</p>									
SDGs17の目標										
	<p>屋根ガラス破損状況【工事前】</p>			<p>工事完了状況</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
	技術相談・技術指導（令和4年度 年間目標40回）		回	92	39	49				
項目評価	高→低			評価の理由						
	4	3	2					1		
	有効性	●								老朽化が進み危険な状況となっていた玄関屋根ガラスの修繕を行い、利用者の安全・安心を確保してテクノセンターを利用できる環境を整えることが出来たため、「4」としました。
	効率性	●								交付金を有効に活用したため、「4」としました。
	公平性	●								全てのテクノセンター利用者にとっての、安全・安心を確保できたことから、「4」としました。
将来性		●			正面玄関屋根ガラス改修等工事は完了しましたが、テクノセンターの施設全体としては、他にも老朽化によって修繕すべき箇所があり、今後もこのような改修工事を継続的に実施していく必要があることから、「3」としました。					
総合評価	A			本事業によって、テクノセンターをより一層安全にご利用頂ける状況となり、結果として技術支援業務を安定的に行うことが可能になったものと評価しております。今後も、交付金等の活用を検討しつつ、テクノセンター施設の修繕を適切に実施して、利用者の安全確保に努めたいと考えております。						
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010210

事業名		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金積立金		担当部署	産業経済部 テクノセンター						
根拠法令		苫小牧市テクノセンター機器等整備基金条例									
令和3年度決算額		589	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	589	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		2,110	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>							
決算額		589	千円								
人件費		1,521	千円								
事業の目的		自律的な企業支援体制を構築することを目的に、テクノセンター使用料及び手数料収入の一部を、将来のテクノセンターの機器等の整備に要する費用の財源に充てるための基金に積み立てます。									
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> <div> <p>令和2年度末基金残高 231,600円</p> <p>令和3年度基金積立額 589,220円（出納整理期間中の積立分32,400円を含む。）</p> <p>令和3年度基金取崩し額 0円</p> <p>令和3年度末基金残高 820,820円</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度				
		基金の年度末残高		千円	821	232	-				
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							地元企業の産業技術の高度化支援のために必要な機器等の整備費用の財源に充てる事業なので、「4」としました。		
効率性			●						10年間程度の長期的な積立を想定しているので、「3」としました。		
公平性		●							財源はテクノセンター使用料及び手数料から充当しており、公平な受益者負担としているため、「4」としました。		
将来性		●				10年間程度の積立を想定しており、継続して事業を実施する必要があるため、「4」としました。					
総合評価		A				テクノセンターにおいては、地元企業の競争力強化に対応できる高度な支援機器の充実が求められている状況にあります。一方で、今後整備すべき機器の価格も上昇傾向にあることから、本事業に加えて、必要に応じて各種補助金などの活用なども検討します。					
特記事項		事業開始は令和3年1月です。財源はテクノセンター使用料及び手数料から充当しています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010211

事業名		再生可能エネルギー基本戦略構築事業		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課		
根拠法令							
令和3年度決算額		9,999	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	9,999	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		12,816	千円				
決算額		9,999	千円				
人件費		2,817	千円				
総合評価							
B							
事業の目的		本市における「再生可能エネルギー基本戦略」を構築し、地球温暖化の影響による環境に対する取組を推進するとともに、新たな産業振興・産業創出、地域経済の活性化へと繋げる。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>苫小牧市再生可能エネルギー基本戦略の策定 再生可能エネルギーの導入・利活用促進に向け、当市における現状や課題等を整理し、導入目標や取り組むべき施策の方向性を示すべく、「苫小牧市再生可能エネルギー基本戦略」を策定しました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度	
		再生可能エネルギー基本戦略構築事業基本戦略策定	回	1	-	-	
項目評価		高→低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性			●			当市の「2050年ゼロカーボンシティ」挑戦に向けた方向性と合致しており、有効性の高い活動であると考えられるため、「3」としました。	
効率性			●			脱炭素化技術や政策・制度等に関する専門的知識や知見が必用であり、公募型プロポーザルにより専門事業者に委託し策定を行ったため、「3」としました。	
公平性			●			策定に当たっては、学識経験者、エネルギーの専門家や企業等から構成される「再生可能エネルギー基本戦略委員会」を開催しており、「3」としました。	
将来性			●			当市の「2050年ゼロカーボンシティ」挑戦に向けた方向性と合致しており、今後の取組の方向性を示すものであり、「3」としました。	
総合評価		B		評価項目のとおり、おおむね目的に合った活動を実施できていますが、2050年ゼロカーボンシティ実現に向け、再生可能エネルギーの導入・利活用促進に取組みます。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 02企業立地推進費

事務事業番号 07010212

事業名		フェリー事業者感染防止対策等支援事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 港湾・企業振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額	9,990	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A		
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	6,800	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,190	千円								
事業費（総計）	11,399	千円									
決算額	9,990	千円									
人件費	1,409	千円									
事業の目的	新型コロナウイルス感染症による移動自粛に伴う旅客の減少により、事業経営に影響を受けている苫小牧港発着の定期フェリーを運航している事業者に対して、感染防止や利用促進に繋がる取組を支援し、北海道と本州を繋ぐインフラの維持確保を図ることを目的とします。										
事業の内容	SDGs17の目標 フェリー事業者感染防止対策等支援事業補助金 ・利用促進に繋がる事業に対しての補助を行いました。 ・窓口業務等における感染予防対策に係る設備等の導入経費の補助を行いました。										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度					
	フェリー事業者感染防止対策等支援事業補助金		円	9,991	-	-					
項目評価	高→低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							苫小牧港発着の定期フェリーを運航している4事業者に利用いただきました。		
	効率性		●						フェリー事業者感染防止対策等支援事業補助金交付要綱に基づき実施しました。		
	公平性	●							苫小牧港発着の定期フェリーを運航している4事業者に利用いただきました。		
将来性		●			事業者の感染予防対策や利用促進に寄与する取組でした。						
総合評価	A				各項目評価のとおり、苫小牧港発着の定期フェリーを運航している4事業者の感染予防対策や利用促進に寄与する取組でした。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010301

事業名		港まつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		500	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	500	千円					
事業費（総計）		1,204	千円					
決算額		500	千円					
人件費		704	千円					
事業の目的		市内最大のイベントである「とまこまい港まつり事業」に対する補助金です。例年多くの市民の皆さんが参加され、大いに楽しまれています。ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む市民をあげてのまつりであり、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりました。例年は中央公園をメイン会場として、ステージ行事を始め、約150店舗の露店や、各会場での協賛行事、市民おどりなど、3日間で約35万人の来場者となります。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		来場者数			人	0	0	350,000
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本市の夏の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。		
効率性		●				約35万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化が大きく見込めます。		
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。		
将来性		●				市内中心部で開催することにより、中心部の活性化が図られるとともに、交流人口が増加することで地域経済の活性化が見込めると考えています。		
総合評価		A				令和3年度は中止となりましたが、例年約35万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010302

事業名		スケートまつり事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		2,421	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	2,421	千円					
事業費（総計）		15,313	千円					
決算額		2,421	千円					
人件費		12,892	千円					
事業の目的		<p>冬の一大イベントである「とまこまいスケートまつり」に対する補助金です。『氷都とまこまい』を市内外にPRする冬の一大イベントで、市民はもちろん、市外からもたくさんの方が訪れています。特に「しばれ焼き」は苫小牧の名物として広く愛され、子供達を楽しめるアトラクションも多く、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。</p>						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度は開催に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、急きょ開催中止となりました。開催に向け準備を進めていましたので、開催中止までの必要経費を補助金として支出しています。</p> <p>例年は中央公園のメイン会場として、ステージ行事を始め、約50店舗の露店や、各会場での協賛行事があり、特に市民参加型企画のウルトラウインタークイズとビンゴ大会は好評です。例年は2日間で約5万人の来場者となります。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		来場者数			人	0	0	49,000
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本市の冬の最大のイベントであり、市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。		
効率性		●				約5万人の来場が見込まれ、地域経済の活性化を大きく見込めます。		
公平性		●				全市民に参加・来場の機会が平等にあり、一律の利益も見込めます。		
将来性		●				市内中心部で開催することにより、中心部の活性化が図られるとともに、交流人口が増加することで地域経済の活性化が見込めると考えています。		
総合評価		A				令和3年度は中止となりましたが、例年約5万人の来場者があり、地域経済の活性化として、事業の有効性は高いと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010303

事業名		たるまえサンフェスティバル事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		2,850	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	2,850	千円					
事業費（総計）		3,554	千円					
決算額		2,850	千円					
人件費		704	千円					
事業の目的		<p>「市民参加型のイベント」を目指すと共に、来場者・協賛者・地域・主催者が共に参加し、楽しめるイベントとして位置づけ、雄大な樽前山の麓にあるオートリゾート苫小牧アルテン「まぎばの広場」のロケーションの素晴らしさを市民を含めた観光客に提供し、地域経済の活性化及び交流人口の増加を目的としています。</p>						
事業の内容		<p>① ステージでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歌やダンス、お楽しみ抽選会のステージは開催しましたが、参加型のジャンケン大会などのステージは中止となりました。</p> <p>② バーベキューメニューは、道産和牛（90g）、樽前湧水豚（100g）、道産鶏肉（110g）をセットにして販売しました。</p> <p>③ 道南バスの鉄北北口線（03）の路線でワンコインバスを運行しました。</p>						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		来場者数			人	11,000	9,500	31,000
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本市を樽前山の麓のロケーションで市民のほか、市外からの来場者が多く、有効性の高いイベントです。		
効率性		●				事業実施により、市内外からの来場者があったことから、本市の観光入込客及び本市の知名度向上となった。		
公平性		●				ワンコインバスを運行するなど、全市民に参加可能です。		
将来性		●				新型コロナウイルス感染症により、令和1年度と比較すると来場者が減少しているが、令和2年度と比較すると、来場者は増加しており、継続して開催することにより、本市の知名度向上に効果が見込めます。		
総合評価		A				樽前山の麓で開催されるこのイベントは、会場からのロケーションは素晴らしく、豊かな自然が満喫できる環境の中でバーベキューを楽しめる希少なイベントと高い評価をいただいています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010304

事業名		苦小牧市大会等誘致推進協議会補助		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		600	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	600	千円					
事業費（総計）		1,304	千円					
決算額		600	千円					
人件費		704	千円					
事業の目的		スポーツや文化の合宿や大会など積極的に誘致・推進することにより、地域経済の活性化と対外的イメージアップを目的としています。						
事業の内容		<p>① 広報活動は、各種団体等へ大会開催状況調査などを行っているほか、歓迎ステッカーを作成し、市内宿泊施設や公共施設、JR苦小牧駅構内にある大会・合宿歓迎看板などへ掲示を行いPRしています。</p> <p>② 誘致推進事業は、例年は首都圏等に出向きアイスホッケーと陸上競技関係の大学、実業団などへ合宿誘致セールスを行っています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ダイレクトメールを送付しました。また、合宿など実施いただいた際の助成制度の紹介や差し入れなども行い、誘致に必要な各種要望活動も行っています。</p>						
SDGs17の目標								
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		延べ宿泊者数			人	4,436	4,668	8,310
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				令和3年度は新型コロナウイルス感染症により、延べ宿泊者数は減少しているが、その中でも合宿等による、宿泊者がいることから、事業の目的を達成しています。		
効率性		●				コロナ禍でもセールスプロモーションを実施し、継続して実施することにより、効果が得られています。		
公平性		●				宿泊者数の増加によって交流人口が増加し、地域経済が活性化することで企業市民にとって一律の利益があります。		
将来性		●				本市の交通アクセスの利便性、充実した諸施設、冷涼な気候など、本市の優位性を継続して道内外へPRすることにより、将来の交流人口の増加が見込めます。		
総合評価		A				団体での合宿は長期間での宿泊者数が多く、地域経済の活性化に寄与するため、事業の効果は大きいものと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010305

事業名		とまこまいフィルムコミッション事業		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		125	千円	項目評価				総合評価
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他	125	千円					
	一般財源		千円					
事業費（総計）		2,942	千円					
決算額		125	千円					
人件費		2,817	千円					
事業の目的		各種撮影を通し、苦小牧を広くPRするため、映像製作者への各種支援を行い、本市におけるロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、支援を通じ地域振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とします。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>① 各種撮影支援を年間平均20件ほど行っています。 ② 例年、ジャパンフィルムコミッション（JFC）主催の映像関係者や製作者に特化した全国ロケ地への誘致及びPRを目的とした商談会である、全国ロケ地フェアに参加し、本市のPRを行っていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により参加を中止しました。 ③ 観光振興課ホームページで活動報告などのPRを行っています。 ④ 各種要望等に応えるため、各関係機関と連携し、調整しながら事業を進めています。</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		ロケ支援活動実績			件	30	25	16
項目評価		高→低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				撮影時の撮影隊の滞在費、作品放送（掲載）後に本市に来てもらうことで、事業の目的を達成しています。		
効率性		●				継続して映像作品として放送することにより、本市の知名度向上に有効であると考えています。		
公平性		●				映像作品を見て本市に足を運ぶことにより、交流人口の増加し、全市民に利益があります。		
将来性		●				継続して実施することにより、知名度向上及び観光入込客数の増加が見込めます。		
総合評価		A		ロケ誘致等に成功した際の経済効果が大きく、また、本市の知名度向上に寄るものと考えています。				
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010306

事業名		観光振興ビジョン推進事業		担当部署	産業経済部 観光振興課																																
根拠法令																																					
令和3年度決算額		14,693	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">項目評価</td> <td colspan="3"> </td> <td rowspan="2">総合評価</td> <td rowspan="2">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>24,553</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11,804</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>2,889</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>14,693</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>9,860</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価					総合評価	A	事業費（総計）		24,553	千円	財源内訳	国道支出金		千円	地方債		千円	その他	11,804	千円		一般財源	2,889	千円	決算額		14,693	千円	人件費		9,860	千円
項目評価					総合評価	A																															
事業費（総計）		24,553	千円																																		
財源内訳	国道支出金		千円																																		
	地方債		千円																																		
	その他	11,804	千円																																		
	一般財源	2,889	千円																																		
決算額		14,693	千円																																		
人件費		9,860	千円																																		
事業の目的		平成28年2月策定の「苫小牧観光振興ビジョン」を推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。																																			
事業の内容 SDGs17の目標		<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、内容変更や中止した事業があります。</p> <p>① 観光事業者等支援事業：本市事業者への道外販路拡大の情報提供を行いながら、市外での出店補助を行い、本市への誘客促進に繋がりました。また、本市の産業施設等を撮影スポットとして開放するコスプレフェスタを開催することで、経済波及効果がありました。</p> <p>② 外国人観光客誘致事業：外国人観光客誘客に必須となる英語翻訳支援を行い、受入環境の整備を進めました。令和3年度は、宮崎県でアジアゴルフツーリズムコンベンション2021に併せて北海道ファムトリップを実施する予定でしたが、アジアゴルフツーリズムコンベンション2021の中止により、北海道ファムトリップも中止となりました。</p> <p>③ 観光誘客促進業務委託事業：本市の魅力を広く発信するため、市内の観光情報を掲載したガイドブックを作成しました。例年、本市の特色ある産業を観光資源とした花火&産業夜景バスツアー、本市事業者とともに道外の商談会参加や旅行事業者を訪問するなど、誘客促進活動を行っておりますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり事業を中止しました。</p> <p>また、アニメツーリズム推進事業では、本市とゆかりのあるアニメ作品とコラボレーションし、オンライントークショーを開催するなど、本市の知名度向上を図りました。</p> <p>④ 観光案内業務強化事業：道の駅ウトナイ湖において、観光案内所を常設し、本市の魅力効果的に発信するとともに、市内観光施設への誘客促進を図りました。</p> <p>⑤ 観光情報発信強化事業：本市の魅力を広く情報発信し、国内外からの観光入込客のさらなる増加を図るため、雑誌やメディアを活用した観光情報の発信力強化を図りました。</p>																																			
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度																														
		観光入込客数		万人	148.2	142.1	222.5																														
項目評価		高→低		評価の理由																																	
		4	3	2	1																																
有効性		●				新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は減少しているが、アニメ作品とコラボレーションするなど知名度向上の効果から、本市に足を運びたいとの意見があり、事業の目的を達成しています。																															
効率性		●				最小の資源により、市外、道外に向けて観光情報を発信することにより、最大限の効果が得られています。																															
公平性		●				知名度が向上し、交流人口が増加することで、全市民に利益があります。																															
将来性		●				継続して実施することにより、知名度向上及び観光入込客数が増加することで、地域経済の活性化が見込めます。																															
総合評価		A		この事業を進めることで、インバウンド観光客の誘客やアニメ作品等を活用した誘客事業など、本市を幅広くPRすることができ、観光振興ビジョンを推進していく上で、非常に効果が高いと考えています。																																	
特記事項																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010307

事業名		ウトナイ交流センター補償金		担当部署	産業経済部 観光振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		8,724	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	8,724	千円					
事業費（総計）		9,428	千円					
決算額		8,724	千円					
人件費		704	千円					
事業の目的		ウトナイ交流センターの新型コロナウイルス感染症の拡大防止策としての休館等に伴う利用料金等の損失補てんを目的としています。						
事業の内容 SDGs17の目標		<p>補てん金積算 ・令和2年12月1日から3月31日まで 808,120円…① ・令和3年4月1日から6月30日まで 4,154,786円…② ・令和3年7月1日から9月30日まで 3,177,348円…③ ・令和3年10月1日から11月30日まで 583,671円…④ 補てん額合計（①+②+③+④） 8,723,925円</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度		
項目評価		高→低			評価の理由			
		4	3	2	1			
有効性	●					当施設を適正に運営するためには必要な補償です。		
効率性	●					当施設の運営に必要最低限の補償内容です。		
公平性	●					当施設が適正に運営されることにより、全市民並びに観光客に一律の利益があります。		
将来性	●					本市の観光入込客数の大半を占める当施設を維持することで、今後も安定的な誘客が見込まれます。		
総合評価	A		減収に伴う補てん額を適切に行っています。					
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010308

事業名		ウトナイ交流センター施設整備事業		担当部署	産業経済部 観光振興課					
根拠法令										
令和3年度決算額		4,290	千円	項目評価				総合評価		
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他	4,290	千円							
	一般財源		千円							
事業費（総計）		5,699	千円							
決算額		4,290	千円							
人件費		1,409	千円							
事業の目的		地域、来館者、従業員等の要望も踏まえ、館内の乱雑さや労働環境等の課題を解決し、多様化する来館者ニーズ対応や利便性の向上、観光情報発信等の施設機能の強化を図り、来館者の増及び市内観光周遊を促進するために改修工事を行います。								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な施設整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 屋外販売所の設置（給排水・ガス・エアコン・ダクト・電気設備等含む） 入口正面及び通り抜け通路前に風よけ対策を設置 パーゴラ撤去または改修、自立看板の移設 エントランス（正面アクリル板撤去） テイクアウト店舗（排水溝カバー設置、開口部の拡大等） 厨房・レストラン・眺望スペース（エアコン設置、コンセント設置等） 直売所（レジカウンター移設、カウンター新設、流し台廻り床・壁改修、窓改修、AD撤去等） 事務室（倉庫設置・案内用窓改修等） 通り抜け通路（自立掲示板・壁付掲示板設置等） ・令和3年度 改修設計 ・令和4年度 改修工事 								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度		
項目評価		高→低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性	●							苦小牧市観光入込客数の多くを占めているウトナイ交流センターの利便性向上により、来館者数の増加を図ります。
		効率性	●							改修工事により、館内を効率的に活用することができるとともに、観光案内所の利便性も向上します。
		公平性	●							改修工事により、来館者のわかりやすさ、利用しやすさを向上します。
将来性	●				来館者を増加させることにより、更なる交流人口の増加を見込みます。					
総合評価		A				令和3年度に実施設計、令和4年度に改修工事を行い、来館者の利便性向上や観光情報発信等の施設機能の強化を図り、来館者の増加や、観光周遊促進を見込みます。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 07商工費

項 01商工費

目 03観光費

事務事業番号 07010309

事業名		イベント用感染防止対策備品整備事業【繰越明許】		担当部署	産業経済部 観光振興課		
根拠法令							
令和3年度決算額		4,239	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	2,522	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	1,717	千円				
事業費（総計）		4,943	千円	総合評価	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>		
決算額		4,239	千円				
人件費		704	千円				
事業の目的		イベント開催時において、来場者及び従事者が安全に参加できるよう検温機器を購入し、感染拡大防止の体制を整えます。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>イベント開催時、来場者を入口で止めて、順に検温を行う対応をしましたが、来場者が多い時間は検温待ちで列になる状態であったことから、大人数を同時に測定できるサーモグラフィ及び非接触型体温計、液晶モニターを購入し、イベント来場者が安全に参加できる体制を整えました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R3年度	R2年度	R1年度
項目評価		高一低				評価の理由	
		4	3	2	1		
有効性		●				来場者の検温を実施し、円滑な入場を実施しました。	
効率性		●				機器の導入により、円滑に効率良く入場しました。	
公平性		●				来場者には、待たせることなく、一律の利益がありました。	
将来性		●				今後開催される大規模イベントで活用することにより、来場者の安全安心な運営を実施します。	
総合評価		A				来場者を待たせることがなくなることで、密を回避し、安全安心な運営を実施できます。	
特記事項							